

# 第6期障がい福祉計画 PDCAサイクル管理用シート（大阪府）

基本指針の目標	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
---------	--------------------------

計画（P）→実施（D）	目標値	<p>【令和5年度末までの目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神障がい者の精神病床からの退院後1年以内の地域における平均生活日数：316日</li> <li>精神病床における1年以上長期入院患者数：8,688人以下</li> <li>精神病床における早期退院率：入院後3ヶ月時点の退院率 69% 入院後6ヶ月時点の退院率 86% 入院後1年時点の退院率 92%</li> </ul> <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <p>大阪府における「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築に係る府・圏域・市町村の協議の場は令和3年度に全て設置された。各協議の場が活性化することにより、圏域・市町村での取り組みや課題の共有が進み、地域の医療福祉の支援連携体制が強化される。</p> <p>また、大阪府が平成29年度より展開している長期入院精神障がい者の退院支援に関する事業(※)により、精神科病院からの地域移行に関して精神科病院と地域との橋渡しが進められており、より複合的な課題のある長期入院患者の個別支援についても強化していく。</p> <p>※H29～R1「長期入院精神障がい者退院支援促進事業」 R4～ 「長期入院精神障がい者退院支援強化事業」</p>																																								
	実績値	<p>【実績の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神病床における1年以上長期入院患者数</td> <td>9,062人</td> <td>●人</td> <td>●人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※精神障がい者精神病床からの退院後1年以内の地域における平均生活日数及び精神病床における入院後3ヶ月、6ヶ月、1年時点の退院率については、国の調査指標が変更され、現時点において令和3年度実績データは出ていない。</p>	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	精神病床における1年以上長期入院患者数	9,062人	●人	●人																																
	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																						
	精神病床における1年以上長期入院患者数	9,062人	●人	●人																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な活動指標</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域移行支援</td> <td>見込</td> <td>89人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>30人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域定着支援</td> <td>見込</td> <td>456人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>383人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">共同生活援助</td> <td>見込</td> <td>1,851人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2317人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自立生活援助</td> <td>見込</td> <td>90人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>44人/月</td> <td>●人/月</td> <td>●人/月</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	地域移行支援	見込	89人/月	●人/月	●人/月	実績	30人/月	●人/月	●人/月	地域定着支援	見込	456人/月	●人/月	●人/月	実績	383人/月	●人/月	●人/月	共同生活援助	見込	1,851人/月	●人/月	●人/月	実績	2317人/月	●人/月	●人/月	自立生活援助	見込	90人/月	●人/月	●人/月	実績	44人/月	●人/月	●人/月
主な活動指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度																																						
地域移行支援	見込	89人/月	●人/月	●人/月																																						
	実績	30人/月	●人/月	●人/月																																						
地域定着支援	見込	456人/月	●人/月	●人/月																																						
	実績	383人/月	●人/月	●人/月																																						
共同生活援助	見込	1,851人/月	●人/月	●人/月																																						
	実績	2317人/月	●人/月	●人/月																																						
自立生活援助	見込	90人/月	●人/月	●人/月																																						
	実績	44人/月	●人/月	●人/月																																						

## 第6期障がい福祉計画 PDCAサイクル管理用シート（大阪府）

評価（C）	改善（A）
<p>【目標等を踏まえた評価（令和3年度）】</p> <p>●計画の達成状況</p> <p>【精神病床における1年以上長期入院患者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値8,668人以下に対して、令和3年度は、9,062人。</li> </ul> <p>●状況分析</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在残留している長期入院患者については、退院阻害要因が多岐に渡り、病院だけで退院支援を行うことが困難な複合的な課題のあるケースが多くなっている。</li> <li>※主な退院阻害要因                     <ul style="list-style-type: none"> <li>退院意欲の低下・現実認識の乏しさ</li> <li>住まいの確保が困難</li> <li>家族あるいは地域にサポートをする人が少ない、あるいはいないなど</li> </ul> </li> <li>・地域によって、経験や受け皿にばらつきがある状況は継続しており、各圏域・市町村の協議の場で事例検討や課題の共有を行い、医療福祉連携を一層強化していくことが重要となっている。</li> <li>・新型コロナ感染拡大の影響は大きく、これまで実施できていた退院支援（病院訪問や外出外泊体験およびその支援など）が大きく制限されている。令和3年度大阪府精神科在院患者調査では入院期間が「1年以上5年未満」の長期入院全体に対する割合が増加しており、感染症の影響により新たに入院が長期化するニューロングステイが増加している可能性が示唆された。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施してきた事業により、病院の意識の変化などが徐々に進みつつあり、長期入院患者数は減少傾向となっている。また、地域移行の対象と考えられる寛解・院内寛解群の、長期入院全体に対する割合も減少している。</li> <li>・市町村への支援の継続により、協議の場が令和3年度に全て設置され、各地域で検討された課題を共有し、さらに広域的な個別ケース支援の展開が可能になって来ている。</li> </ul>	<p>【令和4年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府内で実施される「協議の場」へ、府の事業で配置している広域コーディネーターが参加し、受け皿である市町村への支援を継続、協議の場の活性化をはかっている。また、地域支援者と広域コーディネーターの顔つなぎを行い、複合的な課題のある個別ケースの市町村への橋渡しがスムーズにいくよう働きかけている。</li> <li>・精神科病院スタッフ研修については、オンラインや、動画撮影によるビデオ研修など、病院内で開催しやすい実施方法の提案をさらに進め、市町村の協議の場との連携も促進していく。令和4年度は研修実施病院が増加傾向となっている。</li> <li>・ピアサポーター活動を側面的に支援することで壁新聞やビデオレターの作成を促進。媒体を活用したオンラインでの茶話会の開催も少しずつ増加している。また新規事業所の開拓も進める。</li> <li>・ニューロングステイを増やさないための個別支援も強化。入院時から退院を見据えた支援の展開の必要性を研修や協議の場を活用し、病院と地域に向けてそれぞれ啓発していく。</li> <li>・病院への個別支援に関して、令和3年度は病院訪問がほぼ不可能だったが、その後病院へ出向いた上で病院のシステムを利用したオンライン面会が可能な病院が増加している。参加者人数をある程度絞り込んだ上でのケースカンファレンスの開催を促すなど、可能な範囲で支援を進められる工夫を啓発していく。</li> <li>・国に対しては、引き続き精神障がい者の特性に合った制度改善や現状に合ったきめ細かい報酬上の改善などについて、要望している。</li> </ul>

## 第6期障がい福祉計画 PDCAサイクル管理用シート（大阪府）

<ul style="list-style-type: none"><li>• 感染拡大の影響により対面開催が困難となった精神科病院スタッフ研修については、撮影した動画の視聴やオンライン開催など新たな方法を検討し、実現が可能となってきた。</li><li>• 同じく対面開催が困難な、退院の可能性のある入院患者の把握に向けてのピアサポーターによる院内茶話会については、壁新聞やビデオレターなど非接触媒体を作成し病院に配布する、あるいはそれを利用したオンラインでの院内茶話会を開催するなど、感染拡大の影響下でも実施可能な方法での取り組みが増加した。</li></ul>	
---	--